

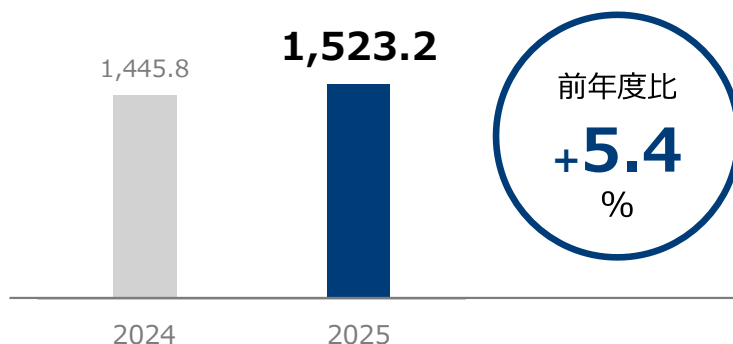
2025年度の事業

JASRAC

2026年5月20日

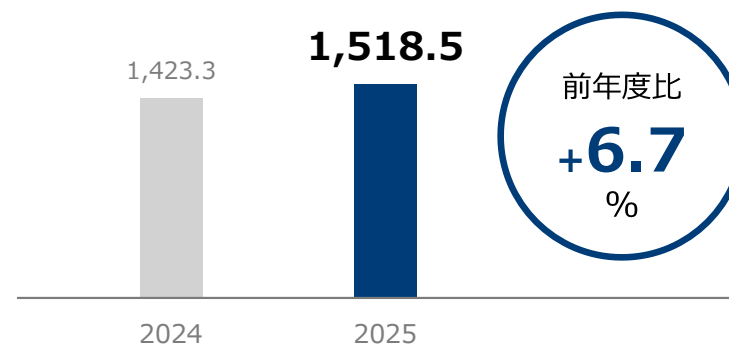
各棒グラフの上の数字はそれぞれ実績額（1千万円未満切り捨て）
（単位：億円）

過去最高
徴収額 **1,523.2** 億円



2024年度の実績額を77.3億円上回り、過去最高額を更新しました。
徴収額が増加した主な種目は、インタラクティブ配信で54.3億円の増、演奏等で30.9億円の増となりました。

過去最高
分配額 **1,518.5** 億円



2024年度の実績額を95.2億円上回り、過去最高額を更新しました。
主に2024年10月から2025年12月までの徴収額を反映し、インタラクティブ配信および演奏等で大幅な増となりました。

徴収額・分配額の内訳

2025年度 使用料等徴収額

分野・種目	実績額 (千円)	前年度比 (%)
演奏	62,382,802	103.1
演奏等	29,111,281	111.9
放送等	26,520,922	94.8
有線放送等	3,962,264	94.7
映画上映	473,213	129.2
外国入金演奏	2,315,120	117.8
録音	16,452,754	103.2
オーディオディスク	7,841,256	110.3
オーディオテープ	127,287	111.0
オルゴール	7,420	82.3
映画録音	89,238	126.9
ビデオグラム	7,777,801	96.8
外国入金録音	609,750	101.5
出版	563,950	95.8
特定目的複製	4,641,485	99.7
広告目的複製	2,058,975	109.9
ゲーム目的複製	2,582,509	92.8
貸与	237,417	77.8
複合	67,821,249	108.7
通信カラオケ	5,997,960	100.0
インタラクティブ配信	61,823,288	109.6
補償金	226,933	110.1
合計	152,326,593	105.4

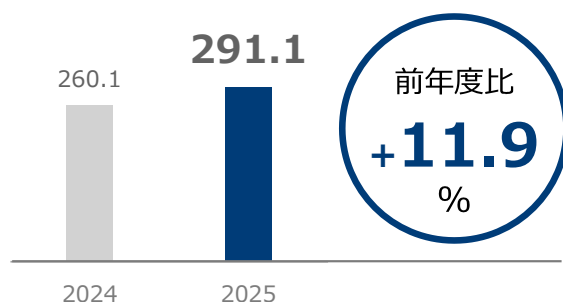
2025年度 使用料等分配額

分野・種目	実績額 (千円)	前年度比 (%)
演奏	63,805,736	103.9
演奏等	28,659,364	110.4
放送等	28,589,658	98.2
有線放送等	4,150,295	97.5
映画上映	479,599	134.1
外国入金演奏	1,926,819	113.2
録音	16,831,198	104.4
オーディオディスク	7,764,779	111.8
オーディオテープ	124,407	109.7
オルゴール	7,895	83.0
映画録音	94,741	134.1
ビデオグラム	8,221,144	96.1
外国入金録音	618,229	147.5
出版	572,408	95.0
特定目的複製	4,768,236	105.0
広告目的複製	2,102,910	119.6
ゲーム目的複製	2,665,326	95.8
貸与	266,266	82.8
複合	65,386,869	110.5
通信カラオケ	5,981,193	100.3
インタラクティブ配信	59,405,676	111.7
補償金	227,231	110.1
合計	151,857,948	106.7

※各種目の実績額の和が「合計」と一致しないのは、それぞれ千円未満を非表示としているためです

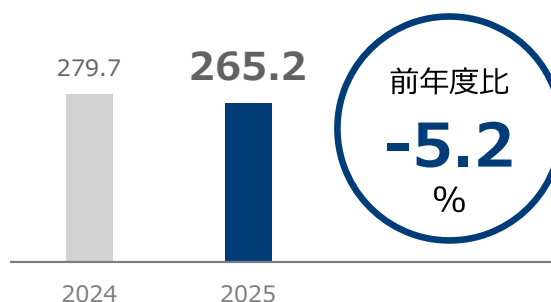
各棒グラフの上の数字はそれぞれ実績額（1千万円未満切り捨て）
（単位：億円）

演奏等 291.1 億円



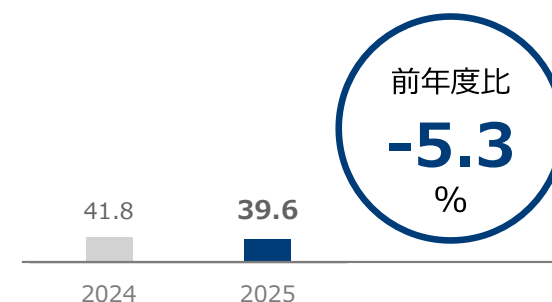
ライブ体験に対するニーズの高まり等を受け、大規模演奏会の開催件数の増加やチケット代金上昇の傾向が続いていることのほか、音楽教室に係る新規の実施に伴う使用料の入金があったことなどから、2024年度実績額を大きく上回りました。

放送等 265.2 億円



番組放送は、使用料の算定基礎となる2024年度放送事業収入がNHKの受信料値下げにより減少した影響等を受け、2024年度実績額を下回りました。

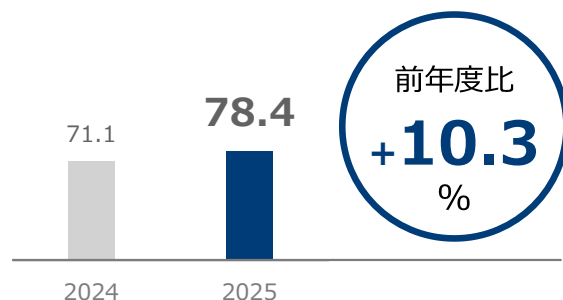
有線放送等 39.6 億円



有線ラジオ放送、有線テレビ放送のいずれも、使用料の算定基礎となる2024年度の放送事業収入が減少したことなどにより、2024年度実績額を下回りました。

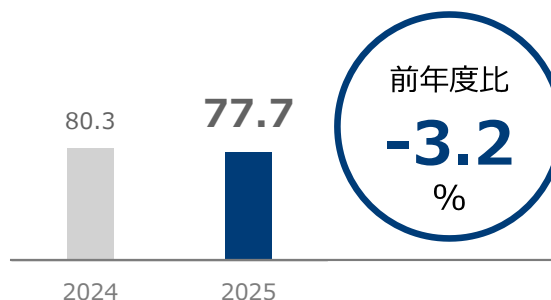
各棒グラフの上の数字はそれぞれ実績額（1千万円未満切り捨て）
（単位：億円）

オーディオ
ディスク **78.4** 億円



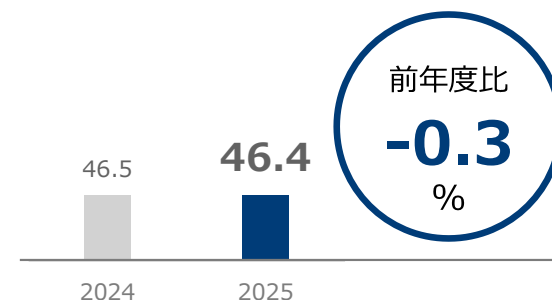
アイドルグループのヒット製品が複数あったこと
などから、2024年度実績額を上回りました。

ビデオグラム **77.7** 億円



パッケージから動画配信サービスへの移行が
進んでいることなどから劇場用映画のビデオグ
ラムとドラマ・アニメのビデオグラムの需要が落ち
込み、2024年度実績額を下回りました。

特定目的
複製 **46.4** 億円

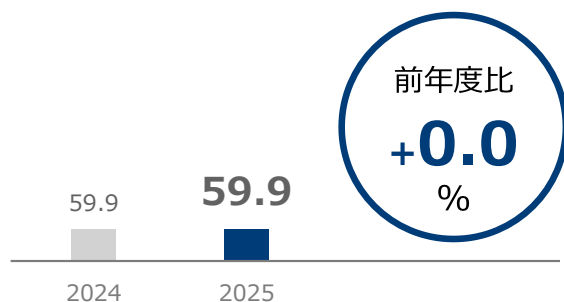


広告目的複製は、飲料および食料品関連の
CMに管理楽曲が活発に利用されたことなど
から、2024年度実績額を上回りました。

ゲーム目的複製は、家庭用ゲームにおいて管
理楽曲の利用が好調であったものの、遊技機
を設置する店舗数が減少していることなどから、
2024年度実績額を下回りました。

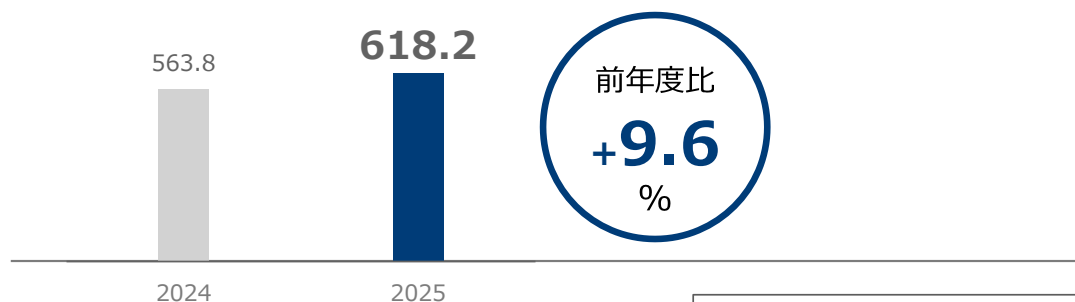
各棒グラフの上の数字はそれぞれ実績額（1千万円未満切り捨て）
（単位：億円）

通信カラオケ 59.9 億円



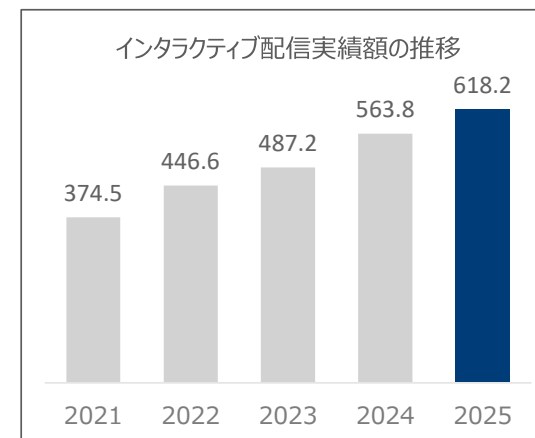
通信カラオケ端末の稼働台数が前年度並みでした。

インタラクティブ配信 618.2 億円



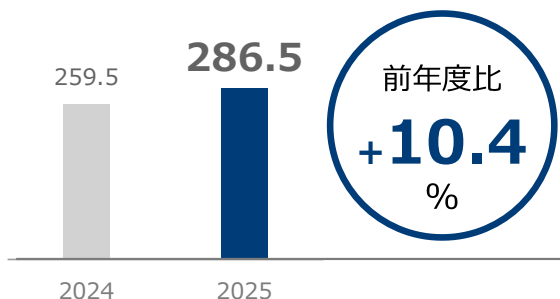
音楽サブスクリプションは、主要なサービスで会員数の増加や値上げがあったことなどから、2024年度実績額を上回りました。

動画等は、大手配信事業者の提供するサービスを中心に好調を維持したほか、一部のサービスにつき利用許諾契約に基づき実施した監査等で判明した過去分使用料の請求を行ったことなどから、2024年度実績を上回りました。

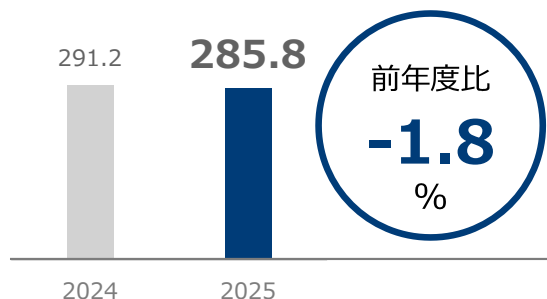


各棒グラフの上の数字はそれぞれ実績額（1千万円未満切り捨て）
（単位：億円）

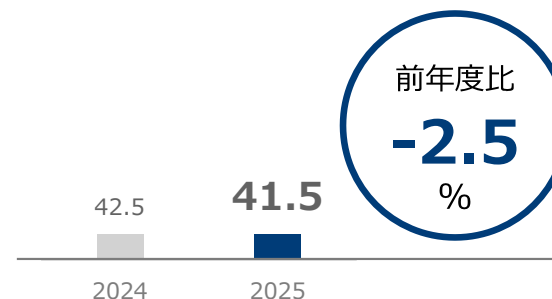
演奏等 286.5 億円



放送等 285.8 億円



有線放送等 41.5 億円



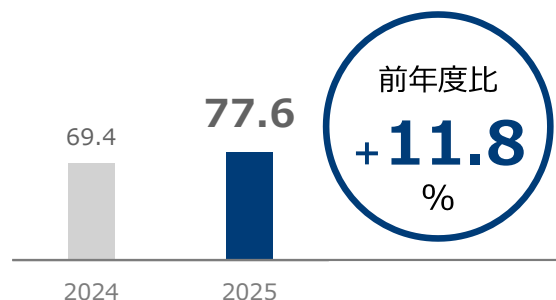
科目ごとの分配対象作品数

	科目	主な分配対象使用料	分配対象作品数
演奏等	上演・演奏会等	2025年1月 ~ 2025年12月 入金分	297,717 作品
	社交場	2025年1月 ~ 2025年12月 入金分	31,602 作品
	カラオケ	2025年1月 ~ 2025年12月 入金分	369,159 作品
放送等	NHK、民放地上波ラジオ、民放地上波テレビ	2024年10月 ~ 2025年9月 使用分	784,313 作品
	コミュニティ放送、放送大学、民放衛星ラジオおよび民放衛星テレビ	2024年4月 ~ 2025年3月 使用分	
	CM放送	2024年10月 ~ 2025年9月 入金分	479 作品
有線放送等	有線ラジオ放送	2024年4月 ~ 2025年3月 入金分	355,504 作品
	有線テレビ放送	2024年4月 ~ 2025年3月 使用分	250,989 作品

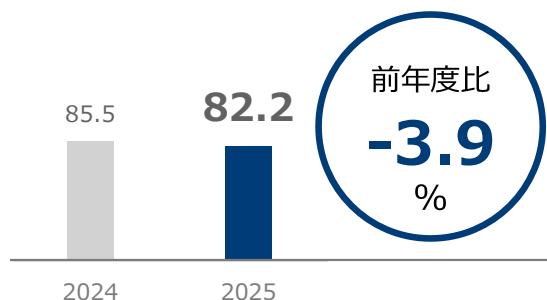
分配関係 | 録音、特定目的複製

各棒グラフの上の数字はそれぞれ実績額（1千万円未満切り捨て）
（単位：億円）

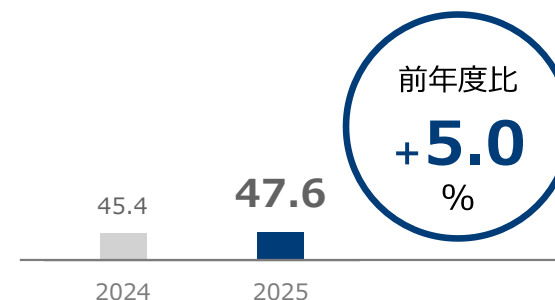
オーディオ
ディスク **77.6** 億円



ビデオグラム **82.2** 億円



特定目的
複製 **47.6** 億円

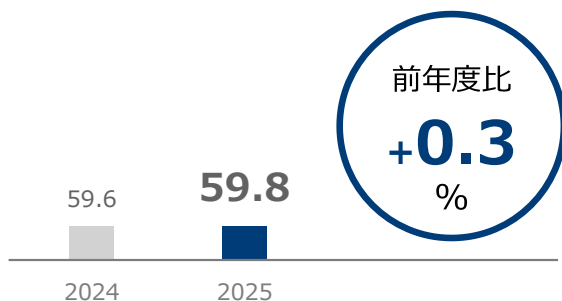


科目ごとの分配対象作品数

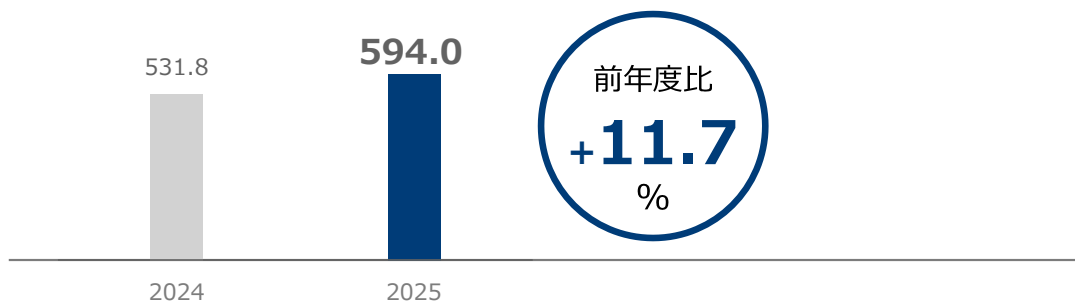
科目		主な分配対象使用料	分配対象作品数
オーディオディスク	大手レコード会社など包括契約者	2025年5月・8月・11月・2026年2月 入金分	496,162 作品
	包括契約者以外の利用者	2025年1月 ~ 2025年12月 入金分	
ビデオグラム	大手映像ソフト制作会社など包括契約者	2025年3月・6月・9月・12月 入金分	161,308 作品
	包括契約者以外の利用者	2025年1月 ~ 2025年12月 入金分	
特定目的複製	広告目的複製	2025年1月 ~ 2025年12月 入金分	914 作品
	ゲーム目的複製	2025年1月 ~ 2025年12月 入金分	2,502 作品

各棒グラフの上の数字はそれぞれ実績額（1千万円未満切り捨て）
（単位：億円）

通信カラオケ 59.8 億円



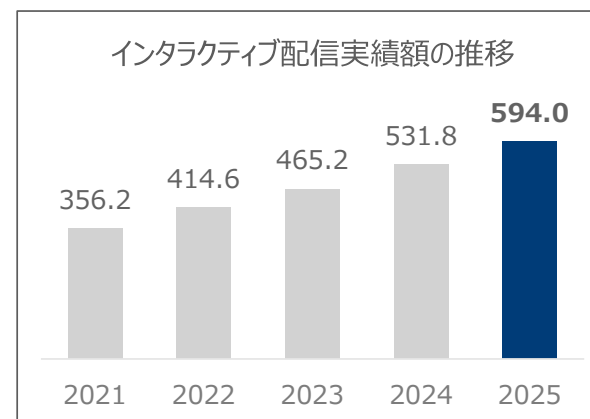
インタラクティブ配信 594.0 億円



科目ごとの分配対象作品数

科目	主な分配対象使用料	分配対象作品数
通信カラオケ	2025年1月 ~ 2025年12月 入金分	349,237 作品
インタラクティブ配信	2025年1月 ~ 2026年1月 入金分	3,635,886 作品

インタラクティブ配信実績額の推移



管理対象作品数

98,765,753作品

(2026年5月8日時点でのCIS-Net (※) 登録数。JASRACが登録した**2,716,490作品**を含む)

※ CISACが開発した国際的な作品情報データベースで、加盟各団体が管理作品データを提供し、各団体の管理作品情報等をネットワーク上で共有している

分配対象作品数および権利者数 (全分野を通じたユニーク数)

		2024年度	2025年度※
分配対象作品数		3,313,762 作品	4,066,661 作品
分配対象権利者数 (内国)	著作者	96,301 人	119,298 人
	音楽出版社	3,297 社	3,330 社
分配対象権利者数 (外国)	著作者	430,463 人	568,990 人
	音楽出版社	52,653 社	64,267 社
		122の外国団体を通じて分配	121の外国団体を通じて分配

※一部の配信サービスの過去分使用料の分配に係る一時的要因によるものを含む。

演奏

刑事	民事					合計
	告訴	本案訴訟	仮処分	民事調停	支払督促	
0件 (0件)	0件 (0件)	5件 (3件)	1,366件(※) (1,343件)	31件 (28件)	25件 (22件)	1,427件 (1,396件)

※管理楽曲が利用された複数の外国映画を長年にわたり無断で上映していた事案について実施した民事調停1件を含む。

() 内は2024年度

複製

使用料の滞納について民事調停を2件申し立てました。

公衆送信

ファイル共有ソフト「BitTorrent」を悪用して音楽ファイル等を無断でアップロードしていた事案1件について刑事告訴を行ったほか、使用料の滞納について、債権差押命令を2件申し立てました。

有線テレビジョン放送等の使用料率変更

年間の包括使用料の算定に係る使用料率(前年度における有線放送事業収入に乗じる料率)を1%から1.5%に変更しました(2026年4月1日から実施)。

料率の変更は、1975年の制定以来約50年ぶりです。制定当時と比較して業界全体の売上や音楽利用量が大幅に拡大した一方で、使用料率が他の放送分野と比べて低水準にとどまっていたことから、利用者団体である一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟と集中的に協議を行い、合意に至りました。

外国入金増加等に向けた取り組み

音楽コンテンツの海外展開が進む中、管理楽曲の外国地域における利用について適正な徴収・分配を確保するため、以下の取り組みを行いました。

(1) GDSDXを活用した管理推進

グローバル展開する動画・音楽の配信サービスのコンテンツ情報と著作権管理団体が管理する楽曲情報を共有・交換するプラットフォーム「GDSDX」に参加する著作権管理団体の拡大を図り、参加団体数が、2026年3月時点でJASRACを含む18団体に増加しました。より多くの地域においてGDSDXを通じた円滑な作品管理が推進されました。

また、「GDSDX」の目的や効果、音楽エコシステムへの貢献や今後の展望について紹介するプロモーションビデオを公開しました。撮影には、JASRACを含むGDSDX設立5団体（KOMCA（韓国）、MÜST（台湾）、WAMI（インドネシア）、FILSCAP（フィリピン））のほか、CISAC（著作権協会国際連合）の協力も得ています。

(2) 大手アニメ配信サービスと各国の著作権管理団体の利用許諾契約の促進

海外で人気の大手アニメ配信サービスと各国の著作権管理団体との利用許諾契約締結に向けた働きかけを継続したほか、許諾契約を締結した団体からの入金増加のため、コンテンツの照合とキューシートの提供を行いました。



GDSDX

Global Digital Service Data Exchange

GDSDXプロモーションビデオ



Fullバージョン



Shortバージョン

管理手数料実施料率の一部引き下げ

経常費用の支出が予算内に収まる見込みとなったことから、2026年3月分配期に適用する管理手数料実施料率の一部を引き下げました。また、実際の使用料分配額に対する経常費用の割合は9.5%（2025年度）となりました。

<実施料率を引き下げた区分>

使用料の区分	届出料率	2025年度 実施料率	2026年3月 分配期のみ
演奏等(大規模演奏会等)	25%	12.5%	10.5%
業務用通信カラオケ	10%	9%	7%
放送等	10%	8.5%	7.5%
インタラクティブ配信	10%	9.5%	7.5%
業務用音楽配信(※)	10%	9.5%	7.5%
授業目的公衆送信補償金	20%	9.5%	7.5%

※2025年6月の管理委託契約約款変更によって新設された区分（2025年12月分配期から適用）。

委託者獲得およびサービス向上等の取り組み

「JASRAC Creator's Path」を開催

音楽クリエイターを対象としたトークイベント「JASRAC Creator's Path」を開催し、音楽著作権の基礎知識やJASRACの役割に対する理解の促進を図りました（10月および2026年2月）。

「JASRAC Welcome DAY」を開催

新規委託者の当協会業務に対する理解を促進することなどを目的としたイベント「JASRAC Welcome DAY」を開催しました(8月および2026年2月)。

「KENDRIX EXPERIENCE」を開催

音楽クリエイターに向けて、音楽体験を共有するイベント「KENDRIX EXPERIENCE」を開催しました（2026年3月）。



「JASRAC Creator's Path」



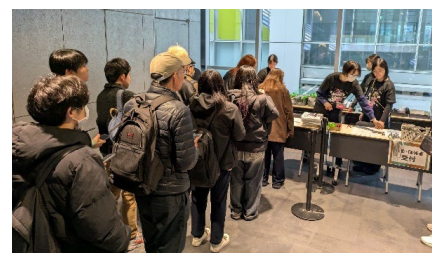
「JASRAC Welcome DAY」



渋谷ストリームホールで開催



メインステージでの「公開コライト」の様子



音楽クリエイターを中心に291人が参加



サブステージでは「作詞ワークショップ」も開催

新規信託契約締結者数および会員数等

新規信託契約締結者数および新規入会者数

	著作者	音楽出版社	その他	合計
新規信託契約締結者数	647 (495)	100 (96)	2 (4)	749 (595)
新規入会者数	80 (75)	4 (9)	2 (2)	86 (86)

過去最高

() 内は2024年度

会員数および信託数 (2026年3月31日現在)

	会員		信託者	信託数 (会員・信託者の合計)
	正会員	準会員		
作詞者	207	891	1,868	2,966
作曲者	299	642	1,948	2,889
作詞・作曲者	749	1,382	4,643	6,774
音楽出版社	243	427	3,181	3,851
承継者	-	151	5,107	5,258
その他	-	11	29	40
合計	1,498	3,504	16,776	21,778

「KENDRIX」をアップデート

ブロックチェーン技術を活用した存在証明機能とeKYC機能を備える楽曲情報管理システム「KENDRIX」のアップデートを行いました。

主な機能アップデート

- ▷ 存在証明機能で用いるブロックチェーンを「Soneium」※に移行（4月）
- ▷ 創作の寄与度に応じた分配率の届出機能を追加（8月）
- ▷ 「KENDRIX」で行われた様々なアクションを時系列で可視化する創作ログ機能「おとログ」を追加（12月）
- ▷ 歌詞データ（テキストファイル）の登録が可能に（2026年3月）

※ソニーグループのSony Block Solutions Labs Pte. Ltd. が開発したパブリックブロックチェーン

illustration / YUSUKE NAKAMURA

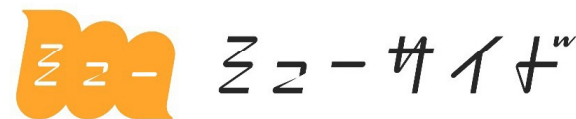


「muside」とのコラボレーションが始動

西日本鉄道株式会社が運営する、主にバンドやシンガーソングライターのライブ活動をサポートするスマホアプリ「muside」とKENDRIXのコラボレーション開始を発表しました。

コラボレーションの内容

- ▷ 協賛イベントの実施等による相互送客とマネタイズに関する知識の共有（2026年3月、11月）
- ▷ musideのセットリスト機能の活用、情報連携によるライブハウスからの対価還元のDXに向けた検証事業の実施（2026年度～）



CISAC幹部と連携した中国著作権局への権利保護強化の要請

10月、須子真奈美常務理事が、CISACのガディ・オロン事務局長らとともに、中国国家著作権局の王志成局長らと面談し、中国における権利保護の強化を求めました。

外国団体等との実務者交流会の実施

管理実務についての情報収集、意見交換等を目的として、下表のとおり、実務者交流会を実施しました。

時期	団体名等
2025年 5月	BumaStemra (オランダ)
2025年 5月	GEMA (ドイツ)
2025年 6月	PRS (イギリス)
2025年 9月、10月	MCSC (中国)
2025年 10月	KODA社 (デンマーク)
2026年 3月	ASCAP (アメリカ)



中国国家著作権局長らとの面談

在外研究支援事業「JASRAC国際フェローシップ」

第5回募集を行いました。また、2024年度に研究を終えて帰国した在外研究員による研究成果報告動画を委託者向けに公開しました。

教育・啓発事業「JASRAC著作権アカデミー」

(1) 公募型一般講座「出張講座JASRACラーニングスクエア」

著作権に関する講座の開催を希望する方を募集し、応募者の希望する講義内容に応じて、講師をキャスティング。無料の出張講座を提供しています。2025年度は57件の講座を実施しました。

(2) 公募型寄付講座「寄付講座JASRACキャンパス」

初めての寄付先である5件の講座が開講しました。

また、第2回募集を行い、学識経験者で構成される選考委員会の審査を経て、以下の6つの大学に寄付を決定しました。講座は2026年4月以降、順次開始されます。

- ・金沢大学／大学院法学研究科
- ・神戸大学／法学部・大学院法学研究科
- ・中央大学／法学部・大学院法学研究科
- ・東京音楽大学／音楽学部
- ・明治学院大学／法学部・大学院（法学研究科・経営学研究科）
- ・明治大学／情報コミュニケーション学部



詳細ページ



特設サイト



寄付講座JASRACキャンパス（福島大学）

文化審議会および同審議会著作権分科会に参加

文化審議会および同審議会著作権分科会に千住明理事が委員として参加し、著作権法30条の4(生成AIの開発のための著作物利用を原則として自由とする権利制限規定)への対応を求める意見を述べました。

「AIに関する懇話会」を設置

生成AIについて音楽・著作権に関する情報や課題等を共有し、意見交換を行うことを目的として、理事7人を構成メンバーとする「AIに関する懇話会」を設置しました。

都倉俊一文化庁長官を表敬訪問

CISAC(著作権協会国際連合)のガディ・オロン事務局長およびベンジャミン・ンCISACアジア太平洋地域代表が、伊澤一雅理事長および須子真奈美常務理事とともに都倉俊一文化庁長官を表敬訪問し、生成AIについて意見交換を行いました。

APMA執行委員会に参加

渡辺俊幸理事が北京で開催されたAPMA(アジア・太平洋音楽創作者連盟)執行委員会に参加したほか、クリエイターズセミナーでパネルに登壇し、AI時代におけるクリエイターの権利保護の在り方について意見を述べました。



CISAC事務局長・アジア太平洋地域代表と
都倉俊一文化庁長官を表敬訪問

公式アカウントでの情報発信

JASRACの事業に関する情報を広く迅速に発信するため、X、Facebook、InstagramおよびYouTubeの公式アカウント活用を継続しました。

https://x.com/JASRAC_1939

<https://www.facebook.com/jasrac1939/>

https://www.youtube.com/jasrac_official

https://www.instagram.com/jasrac_1939/



X



Facebook



YouTube



Instagram

代々木上原JASRACまつりの開催

11月、本部事務所の移転を前に、著作権管理事業へのさらなる理解と協力を呼びかけるとともに、地域住民への感謝を伝えるため、協会本部および周辺会場において「代々木上原JASRACまつり」を開催しました。

トークイベントの開催

2026年3月、ヒグチアイさん、meiyoさん、芦沢ムネトさん（MC）をゲストに迎え、音楽クリエイター・音楽ファンに向けたトーク&ライブイベント「音楽と生きる、音楽で生きる Special ～Supported by JASRAC～」をYouTubeで公開しました。



「代々木上原JASRACまつり」であいさつを行う伊澤理事長

各種協賛・記事広告の出稿

- ▶ 当協会がプライズパートナーとして協賛する「MUSIC AWARDS JAPAN」が2025年5月に開催され、第1回「クリエイター特別賞 Song of the Year for Creators presented by JASRAC」として『アイドル』の作詞・作曲者Ayaseさん（YOASOBI）を表彰しました。
- ▶ 劇伴音楽をテーマにしたイベント「京伴祭-KYOTO SOUNDTRACK FESTIVAL-2025」に協賛し、ブースを出展しました。
- ▶ 中高生を主なリスナーとするラジオ番組「SCHOOL OF LOCK!」（TOKYO FM）において、協賛コーナー、CM等を放送するとともに、オリジナルグッズのプレゼント企画や番組公式Xと連動したキャンペーンを行いました。
- ▶ 音楽クリエイターやダンスおよびクラブミュージックを始めとするエンタメ・カルチャーへの関心度が高い層を主なリスナーとするJ-WAVEのラジオ番組「TOKYO M.A.A.D SPIN “Z”」において、協賛コーナー、CM等を放送しました。また、J-WAVE主催イベント「INSPIRE TOKYO2025」において、同番組が提供するDJステージでオリジナルグッズを配布したほか、会場や特設サイトにバナーを掲載しました。
- ▶ 地上波テレビ28局ネットで放送されている音楽情報番組「Music B.B. Japan」において、「JASRAC音楽著作権講座」を放送しました。
- ▶ 音楽系の情報を発信しているウェブメディア「音楽ナタリー」、「リアルサウンド」および「DTMステーション」に記事広告を出稿しました。



「MUSIC AWARDS JAPAN」での表彰の様子



音楽ナタリー



リアルサウンド



DTMステーション

本部事務所の移転

2026年7月中旬に本部事務所を移転

移転先

〒107-0052
東京都港区赤坂1丁目8番1号
赤坂インターシティAIR 22階・23階

アクセス

- ▷ 東京メトロ 銀座線・南北線
「溜池山王」直結
- ▷ 東京メトロ 千代田線・丸ノ内線
「国会議事堂前」直結
- ▷ 東京メトロ 日比谷線
「虎ノ門ヒルズ」徒歩約5分
「神谷町」徒歩約10分



JASRAC